



グリーン経営永年表彰状を掲げる相原部長（左）と、10年継続のゴールドステッカーを手にする杉井顧問

【東京】トヨタメトロジック（平光順三社長、横浜市金沢区）のグループ会社、サンメトロ輸送（平光社長、東京都品川区）は、品川営業所（同区）でグリーン経営認証を取得して10年を迎え、

サンメトロ輸送

交通エコロジィ・モビリティ財団（岩村敬会長）からグリーン経営認証永年登録事業所表彰を受けた。同社の杉井博顧問は「今後もエコドライブ活動を継続し、環境保全に貢献していく」と話す。

グリーン経営10年継続

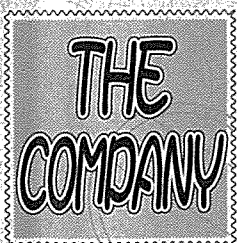
2002年、トヨタの自動車（商品車）配送を担っていたトヨペット輸送と双葉陸送が合併し、更にティーシーサービス（小原靖史社長、大田区）の物流部門を編入して誕生。

合併を機に環境保全対策を一層推進しようとして、03年にグリーン経営認証を取得した。その後、グリーン経営推進マニュアルに沿って、エコドライブ活動の基本の「ゆっくりに発進・ゆっくり停止」を積極展開。「前の車両の後ろタイヤが見える位置で停車」を車間距離の

エコドライブ、確実に浸透

目安とするなど、事故防止と環境保全を一体的に進めている。相原則夫配送管理部長は「ベテランドドライバーが多いが、この10年間でエコドライブは確実に浸透した」という。

また、デジタル・タコグラフで速度やエンジン回転数などを管理し、急制



動があつたドライバーには運転指導。グループ3社で開催する年2回の安全講習会では、バック事象などをテーマにドライバー同士で情報交換を行う。（高橋 朋宏）

現在、リアルタイムで運行データを収集するネットワーク型デジタルタコへの切り替えを進めており、杉井氏は「情報の分析、ドライバーへのフィードバックがより詳細に行える。ソフト・ハード両面から環境や安全対策を実践するとともに、グリーン経営も継続していきたい」と意欲をみせ